◆定率制と NOP 方式の違い（ひまわり FX レギュラー口座・デイトレ口座）◆

下記のポジションを保有している場合の証拠金の計算方法 ①ドル/円　　1 ドル＝100 円で　　20,000 ドル　買い ②ドル/円　　1 ドル＝120 円で　　10,000 ドル　売り ③ユーロ/円　1 ユーロ＝130 円で　10,000 ユーロ　売り 証拠金率　1%の場合

【定率制：新方式】

ひまわり FX レギュラー口座及びデイトレ口座では、持ち高に証拠金を乗じる定率制を採用いたします。同一通貨ペアがある場合、売高と買高の多い方をその通貨ペアの持ち高とします。

1. 各通貨ペアごとに売高と買高の多い方を基準として持ち高を求める。
   ①ドル/円　1 ドル＝100 円で 20,000 ドル　買い
   ②ドル/円　1 ドル＝120 円で 10,000 ドル　売り
   ③ユーロ/円　1 ユーロ＝130 円で 10,000 ユーロ売り
   ⇒①と②は同一通貨ペアで①の方が取引量が多いため、①を基準とする。
   ドル/円…20,000 ドル　買い
   ユーロ/円…10,000 ユーロ　売り
2. 各通貨ペアごとの持ち高を実勢価格で円換算したものに証拠金率（ここでは 1%とします）をかける。
   1 ドル＝105 円、1 ユーロ＝140 円になっている場合
   ドル/円…20,000 ドル×105 円×1%　⇒21,000 円
   ユーロ/円…10,000 ユーロ×140 円×1%　⇒14,000 円
3. 2 で求めた通貨ペアごとの証拠金額を合算する。
   21,000 円＋14,000 円＝**35,000 円…必要証拠金**

【NOP 方式：7/16 まで】

ひまわり FX レギュラー口座及びデイトレ口座では、NOP に証拠金を乗じる定率制を採用しています。

1. 1 つの口座内に存在する複数の為替の持ち高を通貨ごとに分ける。
   ①ドル/円　1 ドル＝100 円で 20,000 ドル　買い
   ⇒20,000 ドル買い/2,000,000 円売り
   ②ドル/円　1 ドル＝120 円で 10,000 ドル　売り
   ⇒10,000 ドル売り/1,200,000 円買い
   ③ユーロ/円　1 ユーロ＝130 円で　10,000 ユーロ売り
   ⇒10,000 ユーロ売り/1,300,000 円買い
2. それぞれの通貨において売高と買高を差し引きする。
   円…①②③より 500,000 円買い
   ドル…①②より 10,000 ドル買い
   ユーロ…③より 10,000 ユーロ売り
3. 差し引きした各通貨を実勢価格で円換算する。
   1 ドル＝105 円、1 ユーロ＝140 円になっている場合
   円…500,000 円買い
   ドル…10,000 ドル×105 円　⇒　1,050,000 円買い（円評価）
   ユーロ…10,000 ユーロ×140 円　⇒　1,400,000 円売り（円評価）
4. 買い通貨（円換算値）の合計と売り通貨（円換算値）の合計の絶対値を比較し、大きい方を NOP とし、証拠金率（ここでは 1%とします）をかける。
   （買い）1,550,000 円相当＞（売り）1,400,000 円売り（円評価）
   ⇒　NOP＝1,550,000 円
   1,550,000 円×1%＝**15,500 円…必要証拠金**

※証拠金率は内閣府令改正により平成 22 年 8 月 1 日より 2%、平成 23 年 8 月 1 日より 4%に段階的に変更されます。

ひまわり証券
sec.himawari-group.co.jp